

10/1~ くいな橋保管所を開所 京都駅などでの 撤去自転車を保管

対象 10月1日以降に京都駅・JR丹波口駅・地下鉄五条駅付近で撤去する自転車・原動機付自転車。所在地 伏・竹田中島町。受付日時 毎日（年末年始は休み）、午前10時半～午後6時。返還に必要なもの 本人確認書類（運転免許証など）、自転車などを特定できるもの（鍵、保証書など）、撤去保管料（自転車1台2千300円、原動機付自転車1台4千600円）、印鑑。※保管場所・返還手続きの詳細は、撤去場所の立看板などにも記載。なお、9月30日以前に撤去した自転車などは、伏見津知橋保管所（伏・景勝町）で保管。



府市協調を着実に推進

平成21年7月に行われた市長と知事の懇談会では、鴨川の放置自転車対策などについて合意。これに基づき府から無償で提供された、くいな橋保管所を拡張して開所します。

【問合せ】自転車政策課

☎222-3565 FAX213-0017

門川市長と山田知事が懇談 防災対策などで府市協調を更に推進



9月16日、門川大作市長と山田啓二知事の懇談会が開催されました。今回の懇談会では、防災対策や節電、再生可能エネルギーの促進、衛生研究所の連携など、東日本大震災を教訓とした取組を中心に協議しました。今後、懇談会の内容を踏まえ、市と府の幹部同士、実務者同士での協議の場「府市行政協働パネル」などにおいて協議。府市協調の下、より効率的・効果的な行政運営に向け、府市の政策の融合を進めていきます。

懇談の主な内容

○防災対策

原子力発電所事故等に備えるため、左京区久多地域など市内3カ所へのモニタリングポスト（放射線測定装置）の設置を行うとともに、放射性物質の拡散予測（SPEEDI）のデータの公表を国に求めていくなど、今後の防災対策に府市協調して取り組んでいくことで一致。

○節電、再生可能エネルギーの促進

今年の冬、来年の夏の節電に向け、府市共通の目標を設定して府民・市民に呼び掛けていくことで合意。また、太陽光発電設備の設置など、再生可能エネルギーの利用を、府市協調の下でより一層拡大していくことを確認。

○府・市の衛生研究所の連携

食の安心安全や新型インフルエンザの検査、放射能検査などで重要な役割を果たす府市の衛生研究所について、府市の法律上の責任と独自性を踏まえながら、より一層効果的、効率的な施設のあり方を検討していくことで合意。

○生活保護に係る就労支援の充実・強化

増加する生活保護受給者の自立支援に向け、生活保護行政を担当する市と主として労働行政を担当する府が連携して取組を推進。京都ならではの自立支援のモデルを構築し、国にも政策提案していくことで合意。

○世界遺産条約締結40周年行事の誘致

平成24年11月に実施予定の40周年行事の誘致に府市連携して取り組むことで合意。

【問合せ】政策調整担当

☎222-3034 FAX213-0286

命名権を50年 50億円で売却

文化の殿堂・ 京都会馆の再生へ

民間資金の導入により京都会馆（左・岡崎）の再整備と舞台芸術振興を促進するため、この程、同会馆の命名権売却について、ローム株式会社と契約を締結しました。

今回の契約締結は、新しい京都会馆の誕生を大きく前進させるものです。

△契約の内容▽

会馆全体、第一・第二ホール、会議場などの命名権。契約期間 再整備後の同会馆の開館日から50年間。契約金額 50億円（別途消費税）を一括で納入。

建物価値の 継承に向け 検討委員会を発足

学識経験者や舞台技術者、地元関係者などで構成。日本を代表する近代建築物である同会馆の建物価値を検証し、次代に継承していくため、建て替えを行う第一ホールの外観デザインなど基本設計の方針について検討します。

Q なぜ京都会馆を再整備するの？



A 近年、京都会馆には施設の老朽化や設備・機能の不足などの課題が生じています。これらの課題を解消し、現代の利用需要に適合させるために再整備を行います。

Q どんな風に再整備するの？



A 市民・利用者・専門家などの意見を踏まえ6月に策定した「京都会馆再整備基本計画」に基づき、第一ホールを建て替え、他は全面改修します。既存の建物価値は継承しながら、利用者や来場者の要望に応える公共ホールとして再生を目指します。

Q 今後の予定は？



A 平成23年度内に基本設計、24～26年度に実施設計と工事を行い、26年度中の工事完成を目指します。

【問合せ】文化芸術企画課 ☎366・0033 FAX 213・3181